

《平成 29 年度 留学生スタディ・ツアーを実施しました》

(1)日 時：平成 29 年 12 月 16 日(土) 9:30～16:30

(2)見学先等：

①体験先

- ・本所防災館(※防災体験を行いました。)
- ・片岡屏風店(※からくり屏風制作体験を行いました。)

②昼食会場

どすこい酒場 龍馬(ちゃんこ鍋をいただきました)

(3)参加者人数：29 名

※中国：11 名、台湾：4 名、メキシコ：2 名、アメリカ：1 名、イギリス：1 名、イラン：1 名、インド：1 名、インドネシア：1 名、オーストラリア：1 名、韓国：1 名、スリランカ：1 名、ネパール：1 名、ノルウェー：1 名、ベトナム：1 名、モンゴル：1 名

(4)実施状況：

平成 29 年 12 月 16 日に、墨田区周辺にてスタディ・ツアーを実施しました。今回のスタディ・ツアーは、30 名の留学生が参加予定でしたが、前日に 1 名の留学生からキャンセルの連絡があり、29 名の参加となりました。当日は、ほぼ時間通りにスタディ・ツアーが開始し、受付終了後、集合場所の錦糸公園から防災体験を行う本所防災館まで徒歩で移動しました。

防災館到着後、約 20 分間映画を鑑賞しました。映画は地震を例に、都内の学校や町内会等で行われている防災訓練の取組みが紹介され、災害時の自助と共助の大切さについて学びました。映画鑑賞後、2 グループに分かれて地震体験、暴風雨体験、都市型水害体験、消火体験を行い、体験を通じて、留学生は日本の災害や災害時の身の守り方を学び、防災意識が高まった様子でした。

防災体験後、昼食会場であるどすこい酒場 龍馬に移動しました。多くの学生がちゃんこ鍋を食べたことがなく、昼食の時間を楽しんでいたようです。また、昼食時間で他大学の学生と交流が深めることができ、大学での専攻分野や日本の生活について会話が弾んでいる様子でした。

昼食後、再び徒歩で片岡屏風店に移動し、からくり屏風制作を行いました。はじめに片岡様より日本の屏風の歴史と特徴についてお話していただいた後、早速からくり屏風の制作にとりかかりました。細かい作業が続き、留学生は苦勞している様子でしたが、時間内に全員が完成させること出来ました。留学生からは、「日本文化や、災害時から身を守るための知識を深めることができた」、「このスタディ・ツアーで新しい友達ができ」などの声が寄せられました。

